

よく知られたチョウですが、季節の違いで翅の色が変わるので、季節型の説明のために美しい表面がよく図示されます。今回は翅を閉じた個体の写真を載せます。見えているのは裏面で、有名なコノハチョウ顔負けの、実に見事な枯れ葉模様です。

本種の学名は*Polygonia c-aureum*で、後半の種名の部分は「金色のC」という意味になります。本種の後翅の裏を見ると白色のC型の模様があるので、それにちなんだと思われます。一方で、日本にはシータテハという種があり、それは*P. c-album*という学名で、それは「白色のC」という意味です。また、エルタテハという和名をもつチョウもいます。その上で写真のキタテハを見てみると、C型模様は白色に見えますし、見方によってはL字にも見えます。おまけにどの種も黄色っぽい色をしており、名づけの難しさを感じます。

神奈川県立生命の星・地球博物館
学芸員 渡辺 恭平



葉に止まって休むキタテハ



◀ おおい自然園HP
大井町の動植物や虫、
石、自然観察会の結果
などを掲載しています。



◀ 自然NOWへの投稿
町内の身近な自然情報
をお待ちしています。
※撮影は横位置で